

# 自社に合わせた感染防止対策を実践し 強くて愛されるブランドをつくる



(ジャージ生地による速乾性の制服)

- ✓ オンラインでの商談実施
- ✓ 清潔を保つために速乾性の制服を導入
- ✓ 出張後にはPCR検査実施などのルールを作成

—新型コロナウイルス感染症は、業務にどのような影響を及ぼしましたか。

首都圏や大阪に本部・本店がある納入先への訪問による営業活動ができなくなったほか、催事などの対面型イベントも中止が相次ぐなど、営業手法の転換を迫られていると感じます。

—新たな営業手法として、実施されていることはありますか。

提案から打ち合わせまで、現在はオンラインを主軸として活用しています。画質・音質の観点から、改善点は多々ありますが、従前なら訪問しなければ始まらなかったアジア圏の国々との商談が、お互いファーストコンタクトはオンラインで、という流れになってきました。これはむしろ、商機とも言えそうです。

—感染防止対策については、どのような取組を行っていますか。

社員の安全・安心を守ることを第一に考え、訪問者には、事前にアポイントを要請し、来社の際にはインターホンによる確認の上、手指消毒と検温を実施しています。

また、ウイルスを持ち込んでしまうリスクを減らすため、工場内は土足厳禁とし、上靴に履き替えています。同様に、社員の制服は、自宅で洗濯をしてもすぐに乾いて清潔を保てるジャージ生地に変更し、制服上下、帽子を全員に支給しました。

さらに、工場内におけるソーシャルディスタンスを確保するため、倉庫を新たに借りて保管在庫を移し、スペースを広くとることで人口密度を下げています。

そのほか、状況の変化に合わせたルールを作成しており、たとえば管外の出張後にPCR検査を実施し、検査結果が陰性でもテレワークや休日取得を促しています。

—コロナ禍での企業活動について、今後の取組などをお聞かせください。

当社では2020年の社名変更に合わせて、「私のデザイン経営 強くて愛されるブランドをつくる人々」というオンライン番組を配信しましたが(2020年7月～2021年5月)、今後もこうした手法などにより、自社のことや地域のことを発信したり、エンドユーザーとつながることで満足度を高められるようなサービスも考えていきたいと思っています。

(オンラインで打ち合わせ)



(工場内は土足厳禁に)



(インターホンで訪問者を確認)



(自社配信のオンライン番組)



## 【企業プロフィール】

名称 環境大善株式会社

本社 北見市

業種 製造小売業

概要 2006年設立。有用微生物群を発酵培養した「善玉活性水」を活用した商品「きえ〜る」などの消臭剤、土壌改良剤の開発、販売、製造を行う。

H P : <https://kankyo-daizen.jp/company/>

TEL : 0157-67-6788